

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	コンピュータリテラシー		
英文授業科目名	Computer Literacy		
開講年度	2007年度	開講年次	1年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-専門基礎科目-必修科目		
開講学科・専攻	情報工学科		
担当教官名	岩崎 英哉		
居室	西9 - 517		

公開E-Mail	授業関連Webページ
iwasaki@cs.uec.ac.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
コンピュータの動きを理解し、使いこなせるようにする。使用するソフトウェアは主としてUNIXを用いる。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
なし

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
なし

<b>【教科書等】</b>
特になし

<b>【授業内容とその進め方】</b>
<p>講義時間割の前半で、以下の点についての講義と演習を行う。その後は、2学期のC言語を用いる「基礎プログラミングおよび演習」を前倒しして行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ログイン, ログアウト---ログイン名, パスワードの概念の理解と, 設定</li> <li>2. エディタによるファイルの作成</li> <li>3. シェルとファイルシステム</li> <li>4. 電子メールの受信と送信</li> <li>5. ホームページの閲覧と作成</li> <li>6. ネットワークコマンド</li> <li>7. ウィンドウシステム</li> </ol>

## 電気通信大学 平成19年度シラバス

8. 文書の作成と印刷---TeXで自由に文書が作成できるようにする.
9. コンピュータを用いた問題解決
10. Cプログラムの構造, 計算と結果の表示
11. 基本データ型, 変数
12. 9~11に対応する演習
13. 基本的制御構造---繰返し
14. 基本的制御構造---場合分け
15. まとめ

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法 :

講義の出席回数 (30%), 提出されたレポートの内容 (70%) から評価する.

(b) 評価基準 :

以下の到達レベルをもって合格の最低基準とする.

- (1) 講義の80%以上に出席し, 課されたレポート数のすべてを提出していること.
- (2) 与えられた課題の内容を理解して必要に応じてコンピュータ上で実行し, 結果に関する考察がきちんとなされていること.

### 【オフィスアワー : 授業相談】

適宜相談に応じるが, 事前に電子メール等で日時を決めること.

### 【学生へのメッセージ】

コンピュータを使いこなすことは, 情報工学科の学生にとって必要不可欠である. これができないとその後の勉学, 研究に差支えることを肝に命じて欲しい.

### 【その他】